

令和3年予算決算委員会第1分科会会議録

1. 招集年月日 令和3年9月9日
2. 招集の場所 可児市役所5階第1委員会室
3. 開 会 令和3年9月9日 午後0時58分 分科会長宣告

4. 審査事項

協議事項

1. 予算決算委員会の提言、委員長報告に付すべき意見について

総務企画 所管

- ①〔可児市の情報発信について〕

大河ドラマ「麒麟がくる」は終わった。これを契機に可児市の情報発信ができるよう効果的な構築を検討されたい。

- ②〔サテライトオフィスとしての地区センターの有効活用について〕

サテライトオフィスとして地区センターを有効活用できるよう充実化を図られたい。

〔例えば防災リーダー養成講座をオンラインで行うなど〕

- ③〔住宅新築リフォーム助成事業の効果検証について〕

住宅新築リフォーム助成事業に対する効果を検証されたい。

- ④〔地域経済の支援策の検討について〕

コロナ禍で落ち込んできた地域経済の下支えができるような政策を検討されたい。

5. 出席委員 (7名)

分科会長	野 呂 和 久	副分科会長	天 羽 良 明
分科会委員	亀 谷 光	分科会委員	富 田 牧 子
分科会委員	澤 野 伸	分科会委員	大 平 伸 二
分科会委員	松 尾 和 樹		

6. 欠席委員 なし

7. その他出席した者

予算決算委員長	伊 藤 壽	予算決算副委員長	勝 野 正 規
---------	-------	----------	---------

8. 職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長	宮 崎 卓 也	議会総務課長	下 園 芳 明
--------	---------	--------	---------

議 会 事 務 局 記
書

土 屋 晃 太 郎

議 会 事 務 局 記
書

桜 井 孝 治

○分科会長（野呂和久君） それでは、午前中は大変お疲れさまでございました。

委員の皆様もおそろいですので、少し時間早いですけれども、これより予算決算委員会第1分科会を開催します。

9月7日、8日の予算決算委員会において、委員から発言がありました内容を基に、本日、分科会の皆様からの御意見をいただき、令和4年度当初予算編成に生かすよう、総務企画委員会所管についての提言を行うように取りまとめていきたいと思えます。

予算決算委員会において、当分科会に出されました意見は4つありました。

1つ目が可児市の情報発信について、2つ目がサテライトオフィスとしての地区センターの有効活用について、3つ目に住宅新築リフォーム助成事業の効果検証について、4つ目が地域経済の支援策の検討について、これらの意見についてまず提言として取り上げるかどうかについて、一つずつ整理をしていきたいと思えますのでよろしくお願ひいたします。

それでは、一つずつ確認をしていきます。

1つ目、可児市の情報発信について。

大河ドラマ「麒麟がくる」は終わった。これを契機に可児市の情報発信ができるよう効果的な構築を検討されたいという内容ですが、これを提言としてまとめるかどうか、御意見をお願いします。

○分科会委員（富田牧子君） 大体、大河ドラマは終わったって、これは要らない。まず要らないと思うんです。これを契機に、そうすると今まで可児市は情報発信しなかったんかねというような話になりますので、「これを」までは消しますけれど、情報発信ができるようになって、何をどう発信したいのかというそこがないので、何かちょっと私は理解に苦しむんですが、いずれにしても、シティプロモーションということで何か情報発信をもっとしていけということは分かるので、そこら辺を誰か補ってくだされば何か提言になるかなって思いました。以上。

○分科会長（野呂和久君） では、富田委員から、可児市の情報発信については提言として取り上げるといふ、文言については少し整理をしていくということでお話がありました。

他にございませんか。

○副分科会長（天羽良明君） シティプロモーションということで、いろんな課も取り組んでいくようですので、これは一つ多様な情報ツールということも含めて、シティプロモーションという言葉を入れながら積極的に発信していくという、それをまたどういふふうには執行部に促していくかということ取り上げたらいいと思えます。

○分科会長（野呂和久君） ありがとうございます。天羽副分科会長からも、取り上げてはどうかということ。

それでは、1つ目の可児市の情報発信については、提言として取りまとめていくということとよろしいでしょうか。

[挙手する者なし]

それでは、2つ目に行きます。

サテライトオフィスとしての地区センターの有効活用について。

サテライトオフィスとして地区センターを有効活用できるよう充実化を図られたい。例えば、防災リーダー養成講座をオンラインで行うなどとあります。これについての御意見を願います。

○分科会委員（富田牧子君） ちょっと意味が分からないんです、これについて。これなしでもいいと思います。

○分科会長（野呂和久君） 富田委員からなしでいいのではないかとの意見です。

○副分科会長（天羽良明君） こちらのほうは、地区センターにLAN配線を整備して、広見地区センターとか総合会館で試したというようなことを執行部の方からも聞きましたけれども、各14地区センターを全部完備していくというのは実質的に難しいかと思しますので、提言としてはふさわしくないと思います。

○分科会長（野呂和久君） 天羽委員からも必要ないという御意見でした。

それでは、2番目のサテライトオフィスとしての地区センターの有効活用については取り上げないということよろしかったでしょうか。

〔挙手する者なし〕

それでは、取り上げないということとさせていただきます。

3つ目、住宅新築リフォーム助成事業の効果検証について。

住宅新築リフォーム助成事業に対する効果を検証されたいということですが、いかがでしょうか。

○分科会委員（松尾和樹君） 自分は、これは取り上げるべきだというふうに考えています。

理由はですけれども、山根委員の質疑のとおりなんですけど、令和元年度から令和2年度で、内容が変わったことによって件数が100件減って、金額も1,000万円減っていて、これ変えるときに何で変えるのかということを執行部に質問したときに、変える理由は、この予算が年度末を待たず早々に予算の上限に達してしまうので、なるべく広く多くの人に利用してもらうために変えますという話だったにもかかわらず件数が減っているということ、かつ金額も減ってしまっているの、これでよかったのかどうかという部分の検証はするべきだというふうに考えます。以上です。

○分科会長（野呂和久君） 執行部が答弁した内容と結果が違って、そのとおりの効果が得られていないというようなことでしょうか。取り上げるという御意見がありました。

○分科会委員（富田牧子君） 必要ないと思います。

この住宅新築リフォーム助成の事業は随分長くやっているの、もうこの効果は途中でちゃんと検証もされていて、ただ私はこれは長過ぎるぐらいだと、この事業がね、と思うわけです。リフォームだけでなく新築も補助が出るということになりましたので、随分これで恩恵を被ったところは多かったというふうに思いますし、こういう補助事業ってずっとやる必要があるものもあるし、やっぱり期間を区切ってこれだけということも必要だし、そ

の時々に本当に必要な事業をやっていくのが本当は正しいやり方じゃないかなというふうに思いますけど、これはずうっとやってくべきものともあまり私は思えません。以上。

○分科会長（野呂和久君） 富田委員からは、住宅新築リフォーム助成事業については今後の継続についても含めて検証が必要だけれども、今回については提言としては必要ないのではないかとの御意見でした。

○分科会委員（大平伸二君） 私も提言では必要ないと考えております。

一定の効果があつたと市内事業者に十分周知され、10年程度の事業ですので、事業者も市民も一定の効果があるという報告も受けていますので、あえてここで提言にする必要はないと考えております。以上です。

○分科会長（野呂和久君） 大平委員からも必要ないということで住宅新築リフォームについては、事業としては一定の成果があつたのではないかということでした。

この件につきましてはどういたしましょう。

○予算決算副委員長（勝野正規君） 私も必要ないよという立場からですけれども、検証だけでは、行政への提言にならないので、前段は別として提言になるような問題じゃないので必要ないかなという判断です。

○分科会長（野呂和久君） 勝野予算決算副委員長からそのような御意見です。

○分科会委員（松尾和樹君） 一応意見させていただいたのは、私が聞き及ぶところには業者さん、それから消費者、市民のほうから、この制度が変わるタイミングについて、本当に変わるのだとか、どうなるのかというような問合せが思いのほかあつたので関心が高いんだと私の近辺では感じたので意見させていただきましたが、皆さんがおっしゃるような長い期間をもってこの事業の意味、意義という部分がもう達成されているのではないかということでしたので、今回提言に上げずともいいのかなあというふうに考えて、一方でそういう声は確かにありますので、個人的にですかね、私自身ちょっとその点に関しては追求していこうかなというふうに考えるに至りました。以上です。

○分科会長（野呂和久君） ありがとうございます。

それでは、3番目の住宅新築リフォーム助成事業の効果検証については、分科会としては提言としては取りまとめないということにさせていただきます。

それでは最後4つ目、地域経済の支援策の検討について、コロナ禍で落ち込んできた地域経済の下支えができるような政策を検討されたいということについて、提言をまとめるかどうかの御意見をお願いいたします。

○副分科会長（天羽良明君） 先ほど総務企画委員会で中小飲食店、小売店等の応援プレミアムクーポンということで御説明がありまして、それが11月ぐらいからちょっと動きがあるような話もありましたので、先に説明を聞いてしまったんですけども、コロナ禍で落ち込んだ地域経済の活性化ということについて少し提言としてまとめられることができれば、先ほど住宅新築リフォーム助成のほうも見直しとか縮小というような形も見据えながら、それに代わる何かいいものがないかなということを含めて、残して議論したらいいかなと思ひ

ます。

○分科会長（野呂和久君） 天羽副分科会長からは、新しい事業も提案をされるということなので、それも文言も入れながら提言としてまとめていってはどうかということでした。

○分科会委員（澤野 伸君） 私、これ出したんですけれども、地域経済の下支えという、この所管なのでこういうことで出しましたけれども、コロナ禍で苦しんでいらっしゃる方は、生活で非常に影響を被っている方がたくさんいらっしゃるわけですし、福祉面ですとか教育面にも多岐にわたる部分があるので、本来うちの所管だけのこともかもしれませんけれども、全体でまた協議のときには、多少ほかともちょっとくっつけてもらったほうがよろしいかなと思います。

経済のことだけではなくて、本当に生活という部分でお困りになっていらっしゃる方を、この緊急的な措置も必要じゃないかということまでも少しやはり目配せをしていただきたいというところもあると思いますので、この分科会ではこれだと思っんですけど、また全体に戻ったときにちょっとくっつけていただけるとうれしいかなと。ちょっと分科会長から、もしこれが採用になった場合に申し添えをしていただけるとうれしいなというようなところと、ぜひ副分科会長からもお話しただけたので取り上げていただきたいなという、その2点の意見です。すみません。

○分科会長（野呂和久君） それで、お二人からは、この提言としては取り上げていくということと、あと地域経済のみならず、市民の方の福祉の分野、また教育の分野という、他の所管との関連がありますので、そこも含めて予算決算委員会のときにそのように発言をしてくださいということでしたので。

○分科会委員（富田牧子君） 私もこれ取り上げていただきたいですし、来年度の予算とかそういうことじゃなくて、12月の補正予算とかそういうところに向けて絶対やっぱり言うべきだというふうに思いますので。だって、今困っているんで、本当に、どういう策がいいかはちょっと別にしましても、午前中からずっとみんなでいろいろやっぱり支えなきゃ、コロナ禍でという話は委員会ですしてきたので、ぜひ取り上げていただきたいと思います。

○分科会長（野呂和久君） 富田委員からも、この提言については取り上げていってほしいということで、特に来年度のみならず、今ということですので、提言に取り上げていきます。

それでは、この2点について、1つが可児市の情報発信について、もう一つは地域経済の支援策の検討についてという2つについて提言をまとめていくということによろしいでしょうか。

〔挙手する者なし〕

それでは、提言としてまとめていきたいと思います。

それでは、たたき台を提示させていただきます。

若干皆さんがおっしゃった内容というか文言がちょっとずれますけれど、少し文言整理をしていきながら成案にまとめていきたいと思いますのでよろしくお願いします。

まず1つ目、読み上げます。案です。

シティプロモーションの積極的な取組についてということです。

大河ドラマ「麒麟がくる」は終わった。これを契機に明智荘等、本市の地域資源を多様な情報ツールを活用し積極的に情報発信することということで、案として今まとめさせていただいております。

これについて少し文言整理をしていきたいと思いますが、御意見がありましたらお願いいたします。

[挙手する者なし]

ここで暫時休憩します。

休憩 午後 1 時14分

再開 午後 2 時01分

○分科会長（野呂和久君） それでは、会議を再開いたします。

1つ目の可見市の情報発信につきましては、皆様、様々な御意見や文言整理をいたしましたが、今回、本分科会では取りまとめはしないということで、最終的に決定をいたしましたので、よろしくお願いたします。

それでは、2つ目の地域経済の支援策の検討についてということで、2つ目について御意見をお願いします。

○副分科会長（天羽良明君） そうしましたら、一つ、地域経済の支援策について、コロナ禍で落ち込んできた地域経済の下支えができるような政策を積極的に講ずることを提言しましょう。

○分科会長（野呂和久君） ありがとうございます。

このような意見が出ましたが、いかがでしょうか。

[「異議なし」の声あり]

ありがとうございます。

皆様から異議なしということでしたので、読み上げます。

地域経済の支援策について。コロナ禍で落ち込んできた地域経済の下支えができるような政策を積極的に講ずること。

これを提言として取りまとめ、予算決算委員会のほうに提案をさせていただきます。

本日は大変ありがとうございました。お疲れさまでした。

閉会 午後 2 時02分

前記のとおり会議の次第を記載し、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和3年9月9日

可児市予算決算委員会第1分科会長